



平成 27 年 6 月 16 日

各位

会社名 株式会社フォトクリエイト  
代表者名 代表取締役社長 大澤 朋陸  
(コード番号：6075 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役 桑原 功  
(TEL. 03-6812-7054)

## 株式会社アロバの第三者割当増資引受（持分法適用関連会社化）に関するお知らせ

当社は、平成27年6月16日開催の取締役会において、株式会社アロバ（東京都渋谷区、代表取締役：池田 武史、以下「アロバ」）の第三者割当増資を引き受け、同社を持分法適用関連会社化することについて決議し、同日、第三者割当増資引受に関する契約を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 第三者割当増資引受の目的

アロバは、監視カメラを中心としたネットワークカメラに関するソフトウェアを開発しており、同社が開発した「アロバビュー」は日本のネットワークカメラソフトウェア市場においてトップシェア（株式会社テクノ・システム・リサーチ調べ）を獲得しております。

監視カメラは「安心・安全」な社会に繋がるインフラとして普及が見込まれており、中でもネットワークカメラは画質・拡張性・利便性の高さ等の観点から、アナログカメラからの移行も進んでおり、ネットワークカメラ市場は高い成長が期待されています。

当該ネットワークカメラに関するソフトウェアには、画像認識・動画の加工・データ解析に関する技術が求められ、当社が運営するインターネット写真販売事業と必要な基礎技術が共通しております。当社はアロバと画像認識・動画の加工・データ解析技術に関して、共同で技術開発を進めることにより効果的・効率的に当該技術開発が実現できるものと判断しました。

また、今回の増資により、監視カメラシステムの導入性・運用性を飛躍的に向上させるクラウド化およびネットワークカメラ等の映像ソースと画像認識・解析システムとの連携を容易に実現する映像プラットフォームの構築をより積極的に推進することとしています。

2. 株式会社アロバの概要（平成 27 年 6 月 16 日現在）

(1) 名称	株式会社アロバ	
(2) 所在地	東京都渋谷区渋谷二丁目 12 番 19 号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 池田 武史	
(4) 事業内容	ネットワークカメラソフトウェア事業	
(5) 資本金	10,000 千円	
(6) 設立年月日	平成 27 年 5 月 15 日	
(7) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	当社の取締役 1 名及び従業員 2 名を、当該会社の取締役及び監査役として派遣しております。
	取引関係	該当事項はありません。

3. 第三者割当増資の概要

(1) 払込期日	平成 27 年 7 月 1 日（予定）
(2) 発行株式数	普通株式 49,000 株
(3) 発行価額	1 株につき 10,000 円
(4) 調達資金の額	490,000 千円
(5) 募集または割当方法	第三者割当の方法
(6) 割当先及び割当株式数	当社 普通株式 49,000 株

4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0 株（議決権の数：0 個） （議決権所有割合：0.0%）
(2) 取得株式数	49,000 株（議決権の数：49,000 個）
(3) 取得価額	490,000 千円
(4) 異動後の所有株式数	49,000 株（議決権の数：49,000 個） （議決権所有割合：49.0%）

5. 第三者割当増資実施後の大株主及び持株比率

実施前（平成 27 年 6 月 16 日現在）		実施後	
株式会社ルクレ	100%	株式会社ルクレ	51.0%
		株式会社フォトクリエイト	49.0%

## 6. 日程

(1) 取締役会決議	平成 27 年 6 月 16 日
(2) 第三者割当増資に関する 最終契約の締結日	平成 27 年 6 月 16 日
(3) 第三者割当増資引受実行日	平成 27 年 7 月 1 日 (予定)

## 7. 今後の見通し

本件が当社の業績に与える影響は現時点では軽微なものを見込んでおります。

以上

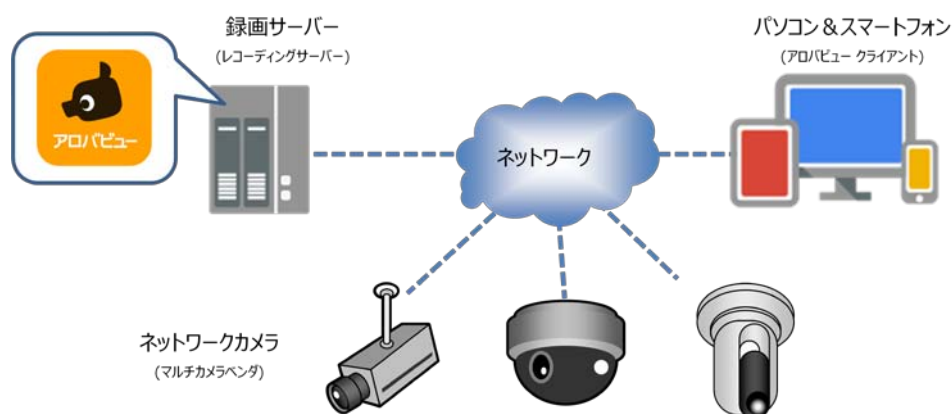
## (参考資料) アロバ社が提供する「アロバビュー」のご紹介

### (1) 「アロバビュー」の製品概要

「アロバビュー」は、複数台のネットワークカメラを統合管理する監視カメラソフトウェアです。

「アロバビュー」がネットワークを通して、最大1,000台までカメラの統合管理を行い、パソコン・スマホから、「ライブモニタリング」「録画/録画再生」「設定/管理」が可能です。

こういった機能に加え、100%国内自社開発によるユーザーの要望に合わせた対応や監視カメラのベンダーに依存しない導入の柔軟さが評価され、業種・業態や規模を問わず、多くのお客様にご選択いただいております。テクノ・システム・リサーチ社が実施している「ネットワークカメラ国内市場のマーケティング分析」におけるネットワークカメラ用ビューア/録画ソフトウェア部門で、2007年から7年連続で国内実績No.1を獲得しています。



### (2) 「アロバビュー」の将来性

#### ① 監視カメラ（ネットワークカメラ）市場の広がり

国内の監視カメラ市場（ハード・ソフトを含む）は2013年には約710億円でしたが、2017年には約923億円市場に成長することが見込まれています。（富士経済研究所調べ）。日本における監視カメラ台数が今後、監視カメラ先進国の英国の水準まで増加するとすれば、現在の2倍以上の台数が設置されることになります。

その中でも、これまでのアナログカメラからネットワークカメラへのシフトが進んでいることから、ネットワークカメラ関連事業の成長性はより高くなるが見込まれています。

また、2020年の東京オリンピックに向けて監視カメラ活用による人流解析・不審者検出への活用が見込まれている他、画像解析データをもとにした販促情報への転用も実用化されつつあります。

#### ② アロバ社の優位性

##### a) マルチベンダー対応

他社のソフトウェアはハードウェアベンダー間の互換性が無い場合が多く、設置する監視カメラ群を特定のベンダーのものに揃えなければならず、既設の監視カメラの一部リプレースを要する等、導入の柔軟性に欠けると言えます。

一方、「アロバビュー」は特定のベンダーに依存せず利用することができる柔軟性を持ち合わせているため、既設の監視カメラが複数ベンダーであったとしてもリプレースすることなく「アロバビュー」で一括運用することが可能です。

b) 24 時間・365 日稼働

業界のリーディング・カンパニーとして技術開発を進めており、ネットワークカメラにおいて実現が困難な 24 時間・365 日稼働を実現しています。

c) ソフトウェア専門・国内開発ソフトのユーザビリティの高さ

アロバ社はネットワークカメラソフトウェアの専門会社であり、ユーザビリティの面で定評があり、専門家でなくともすぐに使いこなせる操作性や、多数台（100 台以上）の監視カメラを同時に管理することも可能です。

また、ソフトウェア専門の会社も競合として存在しますが、国内で開発している「アロバビュー」は、日本人ユーザーにとって導入面・サポート面での対応が柔軟かつスピーディーであり、日本市場において優位な地位を確保しています。

d) 導入状況

上記メリットが認められ、以下のようなエンドユーザーを始めとして、約 10,000 社に導入されています。

- ・ 発電所
- ・ 鉄道
- ・ 金融機関
- ・ 官公庁
- ・ 学校・学習塾

(3) 直近のニュース

- 平成 27 年 6 月 15 日      キヤノンマーケティングジャパンとクラウド監視カメラサービスで協業  
<http://www.arobaview.com/news/20150615.php>
- 平成 27 年 5 月 18 日      監視カメラを活用した教育機関向け「アロバビュー講義収録システム」を開発  
「講義収録ソリューション」としてソニービジネスソリューションより販売開始  
<http://www.arobaview.com/news/20150518.php>
- 平成 27 年 2 月 10 日      NEC ネットズエスアイとクラウド型監視カメラサービスで協業  
<http://www.arobaview.com/news/20150210.php>

(4) 会社情報

会社名：株式会社アロバ

代表者：代表取締役 池田 武史

事業内容：ネットワークカメラソフトウェア事業

URL：<http://www.arobaview.com/>

《本リリースに関するお問い合わせ先》

株式会社フォトクリエイティブ 管理本部経営管理部 広報担当: 吉村恭輔

TEL: 03-6812-7054 FAX: 03-3345-3375 メールアドレス: pr@photocreate.co.jp